

10月24日(木)

14:00 開場 14:30 開演

会場: 山 本 能 楽 堂

〒540-0025 大阪府中央区徳井町1丁目3-6

大阪府・ヴァルドワーズ県日仏友好コンサート

能楽堂で聴く珠玉のフランス音楽

フランスの新進気鋭の音楽家集団エリオス・トリオによる、日仏を結ぶ美しい音楽の旅

PHOTO © LYODOH KANEKO



ヨーロッパで最も高い評価を受けている室内楽アンサンブルの1つ、エリオス・トリオが、モーリス・ラヴェルやガブリエル・フォーレなど、フランス室内楽選りすぐりの作品と、フランス人現代作曲家パスカル・ザヴァロによる『電車男』を演奏。ザヴァロと関係の深い箏曲家大谷祥子も友情出演いたします。万博を控えた大阪の100年の歴史を刻む山本能楽堂で、日仏友好を象徴するような美しい時間を、一緒に過ごしませんか？

大阪府は、フランスヴァルドワーズ県と1987年に友好交流提携を結び、経済や学術、文化など様々な交流を通じて友好の絆を深めています。

エリオス・トリオ TRIO HÉLIOS

フランスの若くダイナミックな音楽家が集結したピアノトリオは、結成から10年を経て、リヨン国際室内楽コンクール第2位、ワイマールのヨーゼフ・ヨアヒム・コンクールにてリスト特別賞、トロンハイム国際室内楽コンクール第2位など、数々の国際コンクールに入賞している。また、オーストリアのISA音楽祭でカンマー・ムジーク賞、クラヴィーア・カンマー・ムジーク賞、ウィーン・クラシック賞を受賞。ミラレ・レーベルのファースト・アルバム『D'UN MATIN DE PRINTEMPS』の後、トリオ・ヘリオスは、セカンド・アルバム『BOHÉMIA』のリリースでCHOC CLASSICAを受賞した。パリを拠点に、ヴィグモア・ホールやフィルハーモニー・ド・パリなどで演奏、ブラドのパブロ・カザルス音楽祭、パリ、東京のフォル・ジュルネ等各地音楽祭に招聘されるなど、国際的に活躍している。

エヴァ・ザヴァロ EVA ZAVARO (ヴァイオリン)

エヴァ・ザヴァロは、フランスで最も評価されている若手ヴァイオリニストのひとりである。2021年ヴィクトワール・ド・ラ・ミュージック・クラシック賞の「インストルメンタル・ソリスト・レヴェレーション」部門にノミネートされた。2018年には、オーストリアで開催されたヨハネス・ブラームス国際コンクールで第1位を獲得し、モーツァルトの最高の解釈に与えられるヴァディム・レービン賞を受賞した。現在、ソリスト、室内楽奏者として世界各地で演奏活動を行っている。ニコロ・アマティの作品とアントニオ・ストラディヴァリの作品を組み合わせたイタリア製ヴァイオリンを使用している。

ラファエル・ジュアン RAPHAËL JOUAN (チェロ)

バロックから現代曲までの様々な種類の楽曲、ジャンルを超えたコラボレーション、多様な楽器編成によるアンサンブルなどに積極的にチャレンジする、好奇心旺盛なチェリスト。トリオ・ヘリオスの創設メンバーであり、ジャズやワールド・ミュージックの一流アーティストとも共演している。2020年に製作されたフランク・ラヴァタン作のチェロを演奏している。

アレクシ・グルネル ALEXIS GOURNEL (ピアノ)

多面的な音楽家であるアレクシ・グルネルは、ソリストとして、また室内楽奏者として定期的に演奏し、ピアノのレパートリーの多様な世界を探索している。現代曲にも深い関心を抱き現代曲のフェスティバルでも活躍する一方、オペラ歌手との共演も多い。後進の指導にも熱意を注いでおり、ランブイエ音楽院で教鞭をとる。

プログラム:

三宅 一徳 月の波紋(箏、ヴァイオリン)

ガブリエル・フォーレ ピアノトリオ ニ短調

パスカル・ザヴァロ ピアノトリオ 電車男

モーリス・ラヴェル ピアノトリオ 口短調

主催: フランス・ヴァルドワーズ大阪事務所

共催: 大阪府・大阪文化芸術事業実行委員会

特別協力: ジャポニスム振興会

企画: アトリエ若松



大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目駅」4番出口より本町通に沿って西へ。
1筋目(ジャンボ酒場)手前を右折。1筋目を左折してすぐ左手。徒歩5分。

お申込はこちらから



(チケットイープラス)

入場料:

全席自由 4000円

学生又は18歳以下 2000円

問合せ:

アトリエ若松(若松均建築設計事務所内)

y.wakamatsu@hwaa.jp

03-5706-0531

会場案内:

山本能楽堂 06-6943-9454

